

やさしく・かしこく・元気よく～認め合い



桃小だより

令和8年7月17日 第4号

大分市立桃園小学校

文責：校長 平山達也

7/17 1 学期終業式 1 学期、ご協力・ご支援ありがとうございました

保護者の皆さん、地域の皆さんのご協力・ご支援のおかげで、1 学期終業式を迎えることができました。

終業式では、1、3、5 年生代表が、1 学期にがんばったことと、夏休み、2 学期のことについて話してくれました。

1 年生は、算数の計算カードをお母さんに聞いてもらいながらがんばったこと。国語のノートを書き、お母さんにほめられたことを話してくれました。夏休みは家族旅行が楽しみだそうです。

3 年生は、算数の余りのある割り算をがんばったこと、学級委員としてみんなをまとめることをがんばったことを話してくれました。2 学期は、社会の調べ学習をがんばりたいと決意を述べてくれました。

5 年生は、漢字をていねいに書くことをがんばり、まだ覚えていない漢字を夏休み中に覚えなおしたい、自分ができていないことを2 学期までにできるようにしたいと、原稿を見ずにしっかり発表してくれました。

代表者だけでなく、全校みんな一人一人にがんばったことがあると思います。区切りとしてお家でお話をしていただけると、よい振り返りになって、次に生きると思います。言葉にするのは大切なことです。

夏休みに入ります 好きを追求する

6 年生の教室に掲示されていた「たのしみは」で始める短歌。6 年生のリアルな楽しみがわかってとてもおもしろかったのですが、その中の一つが右の短歌です。

子どもたちにとって、夏休みは普段の学校生活でなかなかできないことに挑戦したり、自分の興味や関心を深めたりできる貴重な時間です。基本的生活習慣を守りながらも自分の「好き」を追求できる余白の時間をもたせたいものです。

これからの社会は、ますます変化が激しくなり正解が一つではない時代になると言われています。そのような時代には、教えられたことを覚える力だけでなく、「なぜだろう」「もっと知りたい」「やってみたい」という思いを原動力に、自ら問いをもち、考え挑戦し、学び続ける力が求められると言われています。

子どもは本来、好奇心旺盛です。好きだから挑戦する、挑戦するから工夫する、工夫するからできるようになる、できるようになるから得意になる、得意になるからさらに学びたくなる。「好き」はゴールではなく、学びのスタート地点です。

もちろん、その学びの基礎となる基礎学力は必要です。基礎学力の定着のために、夏休みの宿題があります。これも大切です。

子どもたちは、これから何十年にもわたって学び続ける人生を歩みます。だからこそ、小学校で育てたいのは、生涯にわたって力となる基礎学力と、「やらされる学び」

たのしみは

時間忘れて

自分のやりたいことを

好きにやるとき

ではなく、「自ら学ぶ喜び」です。

子どもたち一人一人の「好き」が育ち、「得意」が伸び、その先に「自ら学び続ける力」が育つ、そんな夏休みになることを願っています。

水の事故から、子どもの命を守る～川が危険

子どもの水難事故の場所は、「川」がトップで、この傾向は 10 年前から続いていると報告されています。水辺の事故というと、旅行先やレジャーをイメージするかもしれませんが、実際は子どもが大丈夫と思っている身近な川で多く起きているそうです。

また、水難事故の多くは、見た目が穏やかな川で起きていることも報告されています。「流れが緩やかだから、大丈夫だろう」と油断して事故を招くことが多いのです。穏やかな川では、子どもが遊んでいても、大人がつい目を離してしまうことが考えられます。

川は、流れがゆるやかな場所ほど深くなっていることがあり、また、川底が急に深くなっている場所もあります。さらに地形や川底の状態によって、川面に比べて流れが不安定になっている場合もあるため、一見穏やかな川こそ危険なのだそうです。

子どもたちだけでは絶対に行かせない、大人が連れていくときには細心の注意を払うようにお願いします。

交通事故から、子どもの命を守る

少し古いデータですが、警察庁が平成 30 年（2018 年）から令和 4 年（2022 年）に起きた交通事故を分析したところ、歩行中の小学生の死者・重傷者はこの 5 年間で 2,185 人に上ります。

そのうち、小学校 1 年生の死者・重傷者数は 6 年生の約 3.2 倍、死者に絞ると 10 倍に上ります。小学 1・2 年生は、歩行中事故が多く（死傷者数では 7 歳がピーク）。

特に男児は女児の 2.5 倍とよく気をつける必要があります。事故の時期や時間帯としては、

- ・新学期開始から夏休みまで（4 月～7 月）と秋（10 月～11 月）
- ・登校及び下校後の時間帯（7 時台、15 時～17 時台）

が多く、原因は横断中事故と飛出しが多いそうです。

しかし、小学 3 年生以降、自転車事故が多くなり、中学 1 年生、高校 1 年生で更に増加します。（死傷者数では 16 歳がピーク）。男子が女子の 3 倍以上多いそうです。

今は、自転車に乗っていないかもしれませんが、中高生で、通学や部活動で自転車に乗る機会は増えてきます。ヘルメット着用も、子どもの命を守る点から考え、積極的に指導したいものです。

桃園小学校では、ヘルメットの着用を約束しています。ご家庭でもご指導お願いします。